

籠上グループ 小中一貫教育構想（籠上中・井宮小・井宮北小） R6

<児童生徒及び家庭・地域の実態>

- 明るく素直で、伸び伸びと学校生活を送る子どもが多い。
- 任された活動に対し、熱心に取り組む子どもが多い。
- 学校に協力的な家庭が多く、地域のまとまりも強い。

- ▲自分の思いや考えを進んで表現することが苦手。
- ▲学力・学習習慣に課題がある子どもが多い。
- ▲生活習慣の定着、状況に応じた判断力に課題がある。



視点1 学校の教育目標をグループ校で共有する

三校共通学校教育目標

豊かな心と志をもち 自ら切り拓く子

目指す子ども像

- ☆ 相手を思いやり、互いの良さを認め、共に幸せを追求する子
- ☆ よりよい将来や社会の実現に向け、夢や目標をもち、粘り強く努力する子
- ☆ 学校や地域を愛し、その一員として力を尽くす子

視点2 9年間の系統性・連続性を強化した教育課程

学びをつなぐ

基礎学力の向上と 確かな学び方の育成

- 1 9年間を見通した教科指導
 - 内容の系統性を踏まえた年間指導計画の作成・実践
- 2 発達段階に応じた学び方と学習習慣の育成
 - 授業における学び方の基本モデル「龍門スタイル」の推進
 - 学びの過程が分かる板書
 - 「家庭学習の手引き」の活用による家庭学習の充実
- 3 表現力・コミュニケーション能力を高める指導
 - 「話す・聞く」を中心とした表現活動の場の重視
 - 他者と関わり学びを深める対話的活動の充実

心を育てる

キャリア教育を核とした 自立と共生の心の育成 【軸となる取組・活動】

- 1 自分を見つめ、生き方を学ぶキャリア教育
 - 各領域における学習・活動を関連付けた全体計画
 - 職場見学や社会人講話を通じた学習
- 2 望ましい生活習慣の育成
 - 籠上スタンダード「あいさつ・言葉遣い・時間」の実践
 - 「しずおか学-BOOK」を活用した学習
- 3 豊かな心を育む道徳教育の充実
 - 内容項目の重点化を踏まえた道徳科年間指導計画の作成
 - 生き方や人権について学び、考える機会の設定
- 4 特別支援教育の充実と共生の精神の涵養
 - ソーシャル・スキル・トレーニングの実践
 - OUDの視点に立った授業・学習環境づくり

よりよく生きる力を育む教育の推進

視点3 教職員の協働・児童生徒の交流

協働して創る

つながりを大切にした 協働による学校づくり

- 1 つながりと学び合いを深める児童・生徒間交流
 - Chromebook を活用した授業交流・活動交流
 - 児童会・生徒会連携による活動の計画・実施
(小学生と中学生合同で展開するあいさつ運動など)
 - 小学6年生への中学校生活説明会や部活動見学の実施
- 2 子どもを知り、実践を学び合う合同研修の推進
 - 授業を見合う会の実施(授業公開日の参観等)
 - 各校の校内授業研究への参加(授業改善研修)
 - 学区の児童・生徒について情報交換する場の設定
 - 共通のテーマを設定した学校保健委員会の企画・実施

地域に根ざす

視点4 地域との連携 コミュニティ・スクールによる 家庭・地域との協働

- 1 地域の教育資源を活用した教育の推進
 - 地域について学ぶ「龍門タイム」の実践(歴史文化・福祉)
 - 地域人材を生かした教育活動(社会・道徳・キャリア教育等)
 - 保護者・地域ボランティアによる支援(読み聞かせ等)
- 2 児童生徒の地域との積極的交流
 - 学区一斉清掃・地域防災訓練への参加
 - 籠上学区青少年健全育成大会への参加
- 3 地域に開く教育・地域と連携した活動
 - 学校公開日への地域住民の参加
 - 北部生涯学習センターでの小中合同図工・美術展の実施
 - ボランティアによる登下校時の児童生徒の見守り活動
 - オレンジサポーターズのPTA活動等への協力